

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 支援-24

学校名・団体名	全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会 福島大会実行委員会
HPアドレス	なし
コース	教育研究
活動・研究 テーマ	全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会 開催
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <ul style="list-style-type: none">○ 全国の女性校長が一堂に会して研究協議を行い、連携を深めること によって校長としての職能を向上させ、真の男女共同参画社会の実現 に資する。○ 福島県から震災後5年間の学校経営への取組を発信することで、防 災教育や放射線教育、環境との共生を目指す環境教育など、新たな教 育課題への取組について一つの提案をする。	

1 実行委員会活動計画

- 平成27年4月 福島大会実行委員会立ち上げ
- 平成28年8月4日 第67回全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会福島大会プレ大会
(会場： 福島県郡山市 ホテルハマツ)
- 平成29年8月3日 第67回全国公立小・中学校女性校長会全国研究協議大会福島大会
4日 (会場： 福島県郡山市 ホテルハマツ)
- 第1日目 総会、プレゼンテーション (明日に向かって「福島の歩み」)
文部科学省講演，記念講演
- 第2日目 分科会 (実践発表及び研究協議)
*特別分科会「復興・再生を図る学校経営」において，東日本大震災以降の福島県の教育実践について発表を行う。
- 平成29年10月 大会報告書完成・決算報告 実行委員会解散

2 第67回小・中学校女性校長会全国研究協議大会福島大会プレ大会について

- (1) 大会主題 未来を拓き 心豊かにたくましく生きる日本人を育成する学校教育の推進
～ふるさとに誇りをもち 夢や希望に向かってたくましく生きる子供を育む学校経営～
- (2) 開催日 平成28年8月4日 (木)
- (3) 主な内容

○講演 演題 「福島県の現状と復興・再生へ向けた取組」

講師 文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課課長補佐 大類 由紀子 氏

講師の大類由紀子氏は福島県出身である。平成26年4月から平成28年3月まで福島県教育庁教育総務課長として東日本大震災からの教育復興に尽力された。当日は，ご自身の経験を踏まえ津波災害と教育，原発事故と教育，国の教育改革，震災・原発事故を経て見えたものという4つの視点から，危機管理の在り方や福島県双葉地域の教育復興への取組，国の教育改革についてご講演いただいた。

○研究発表 テーマ「一人ひとりが輝く学校づくり」～私が好き 友だちが好き 三春が好き～

発表者 三春町立三春小学校長 太田文枝

ユニバーサルデザインの視点を生かした学校作りについて，具体的で豊富な実践事例が提示された。また，学校運営協議会との連携や子供達が地域の一員として文化や伝統に関わりながら学びを深める様子も発表された。校長のリーダーシップの在り方を再認識させられる発表だった。

○グループ協議 発表を受けて，2つの視点からグループ協議を行った。

視点1：一人一人が安心して学べる学習環境づくりのための校長のかかわり

～授業づくり，学級づくり～

視点2：ふるさとに誇りをもち子供の育成を図る学校づくりに向けた校長のかかわり

～学校・家庭・地域との連携～

各校の実践をふまえた熱気あふれるグループ協議となり，限られた時間の中で白熱した協議が展開された。代表グループからの協議内容についての発表をもってまとめとした。



3 第67回小・中学校女性校長会全国研究協議大会福島大会について

大会主題 未来を拓き 心豊かにたくましく生きる日本人を育成する学校教育の推進

副主題 ふるさとに誇りをもち 夢や希望に向かってたくましく生きる子供を育む学校経営

平成29年8月3日・4日の両日，全国の会員が一堂に会し，実践をもとにした研究を深めると共に会員相互の連携を図り，各校の学校経営のさらなる充実・発展を目指して研修を行う。女性校長の職能向上を目的とするこの研究協議大会は，真の男女共同参画社会の実現に資するものであると考えている。

実行委員会としては，震災後からの「感謝の気持ちを全国に」という福島県女性校長会の思いをつなぎ，プレ大会の成果と課題を本大会の運営に生かして充実した研究協議大会となるよう，綿密に準備を進めていく。そして，全国大会の成果を女性校長所属の学校のみならず，全国に発信していきたいと考えている。